

大阪・関西万博アメリカパビリオン 「SLSロケット模型受贈記念式典」のご案内

2025年大阪・関西万博アメリカパビリオンの主要展示物であったSLSロケット模型が、このたび、アメリカ合衆国国務省より、在大阪・神戸米国総領事館を通じて地方独立行政法人大阪市博物館機構に寄贈されました。2026年2月20日（金）から、このSLSロケット模型を大阪市立科学館 展示場にて、一般公開いたします。

これを記念し、2月19日（木）に受贈記念式典及び内覧会を開催いたします。

大阪・関西万博アメリカパビリオン 「SLSロケット模型受贈記念式典」

日時：2026年2月19日（木）

17:30～18:30（予定）

※ご参加には事前申込が必要です



アメリカパビリオン展示時の
SLS ロケット模型
写真提供:米国国務省

スケジュール

■受贈記念式典

NASAアジア代表によるSLSロケット紹介

17:30～18:05 会場：展示場1階

■内覧会

18:05～18:30 会場：展示場4階

※スケジュールの詳細は追ってお知らせいたします。

寄贈、公開に至るまでの背景

2025年大阪・関西万博のアメリカパビリオンでは、アメリカの宇宙探査への取り組み、特に今後の月や火星へのミッションに焦点を当てた展示が行われました。来場者は、精巧な模型やSLSロケット打ち上げの迫力ある大型映像、さらには貴重な月の石の展示に魅了されました。

万博の感動を継承し、宇宙科学と技術への関心を今後も高めていくため、アメリカパビリオンの目玉展示のひとつである、NASA（アメリカ航空宇宙局）が製作した高さ約3メートル（1/32スケール）のSLSロケット模型が、アメリカ合衆国国務省より地方独立行政法人大阪市博物館機構に寄贈されました。

大阪市立科学館では、これを万博の貴重なレガシー（遺産）であり、宇宙開発の歩みを伝える重要な資料であると捉え、展示場での公開を決定いたしました。



展示概要／注目ポイント

アメリカ合衆国は、50年以上ぶりとなる有人月探査計画「アルテミス計画」を主導しています。その計画を支える超大型ロケット「SLS（スペース ローンチ システム）」の精巧な模型を展示します。

▶圧倒的なスケールと精度

この公式模型はNASAによって製作されており、高さは約3メートルあります。月への有人宇宙飛行に必要な最先端の技術と工学を、来館者の皆様に間近でご覧いただけます。

▶万博の感動を再び

この貴重な展示品は、2025年大阪・関西万博のアメリカパビリオンで実際に展示されたもので、多くの来場者が体験した感動とインスピレーションを呼び起こします。

「宇宙とエネルギー」をテーマにした理工系の博物館である大阪市立科学館では、SLSロケット模型を4階の「私たちの宇宙」と「科学の歴史とあゆみ」コーナーの接続点に常設展示いたします。この新たな展示が既存の展示とつながり、来館者の皆様が宇宙探査や科学の進歩についてより深く理解を深めていただける貴重な機会になると考えています。

担当学芸員からのメッセージ

1970年の大阪万博で「月の石」が社会現象を巻き起こしたように、2025年大阪・関西万博のアメリカパビリオンもまた、宇宙探査・開発を前面に押し出した展示で大きな注目を集めました。

特に、日本も参画する有人月探査プログラム「アルテミス計画」は、同パビリオンのメインテーマの一つでした。その主力ロケットであるSLSは、実機が全長約100メートルに迫る超大型ロケットです。この迫力あるロケットの模型を万博のレガシーとして当館に迎え、大阪・関西の皆様にご紹介できることは、科学館として大きな喜びです。

アルテミス計画は今まさに進展している「現在進行形」のプロジェクトです。展示では模型の公開だけでなく、最新のトピックもあわせて紹介できる構成といたしました。万博で芽生えた宇宙への好奇心を、ぜひ当館でさらに深めていただければ幸いです。

渡部 義弥（わたなべ よしや）

公開概要

SLSロケット模型は、2月20日（金）より、大阪市立科学館 展示場4階にて常設展示いたします

■開館時間：9:30～17:00（展示場の入場は16:30まで）

■休館日：毎週月曜日（祝休日の場合は翌平日）、設備点検日等

■観覧料：展示場観覧料でご覧いただけます。

大人400円・学生（高校・大学生）300円・中学生以下無料



本リリースに関する問い合わせ先

地方独立行政法人大阪市博物館機構 大阪市立科学館 広報担当 竹浦、西野

電話：06-6444-5656 FAX：06-6444-5657 E-mail：kohoteam@sci-museum.jp

※地方独立行政法人大阪市博物館機構は大阪市内の6つの博物館を設置・管理しています